

「第45回滋賀県消防職員意見発表会の結果について」

令和2年2月5日（水）に滋賀県消防学校で第45回滋賀県消防職員意見発表会が開催されました。この意見発表会は、消防職員が日々の業務の中で感じていることや、災害現場等で経験したことを通し、今後自分自身や消防の組織がどうあるべきか等の考えや決意を述べる場となっています。

滋賀県内の7消防本部から各2名が出場し、当消防本部からは昨年12月に実施した内部選考会で優秀な成績をおさめた2名が出場しました。

出場者それぞれから素晴らしい意見が発表された中、当消防本部代表の北岸消防士長が最優秀賞（14名中1名）を受賞し、令和2年4月24日（金）に京都市で開催される東近畿支部消防職員意見発表会に滋賀県代表として出場します。

《 発表内容 》

・発表順位7番 『最優秀賞』

消防士長 北岸 大貴 『時代とともに』

新人の頃、厳しい訓練で、自信を失いかけたときに、火災現場の帰り道で厳しい指導をされていた先輩の「お前を信頼した」という一言に感銘を受けた。この事で厳しい指導や言葉が当たり前のように意識が変わっていった。時を経て、自分が若手職員に厳しく指導をすると、弱々しい返事が返ってくるだけで、パワハラと感じているように思えた。

ある講義で「内発的動機」という言葉を学び、現代の価値観を持っている若手職員にはこの「内発的動機」により消防を好きになることから入る指導へと時代とともに進化させ、誰もが頼れる消防を目指していく。

・発表順位11番 『優秀賞』

消防士長 中野 宗亮 『人材の確保』

大量退職の時期が終わったとはいえ、少子化による絶対数の減少や職業の多様化、消防の人気低迷等から、人材確保は困難であり、過疎化が進む地方都市では深刻な問題となります。

このような中、積極的な採用行動が必要ですが、受験会場の複数設置やSNSの活用等の方法は、地方都市では、費用対効果が薄いと考えます。

そこで、地方都市の消防には、リファラル採用の導入を提案します。これは社員から人材を紹介してもらう方法で、これを参考とし、学校ごとの出身者が自身の出身校で受験を斡旋するものです。

この方法は地方都市でも確実に人材が担保でき、人材の確保に繋がります。取り組むべきは今なのではないでしょうか。住民の生命、身体、財産を守り、その精神を次に繋げるために。



